

# 水色サロン

中野・生活者ネットワークでは、皆さんと一緒に身近なこと、大事なことに  
ついて学び合う会を「水色サロン」と名付けて、不定期で開催していきます。

## 第1回「中学生のころと身体に寄り添って」

9月30日、都内の公立中学校の養護教諭・座間貴子さんにお話を  
お聞きました。

養護教諭というと、保健室で具合が悪い子どもを迎えて、優しく  
看護するというイメージだったのですが、修学旅行の付添い、感染  
予防のための措置、身体検査やそのお知らせの作成、不登校の子  
どもたちのお話を聞くことから、担任教師や家族に伝えること、そし  
て「特別支援教育」まで、多岐にわたっていることがわかりました。

### 子どもの体力——マット運動でケガ

都会の子どもは外遊びができる場所が少なく、幼い頃から思いっ  
きり体を動かすような遊びを経験していないためか、体力がなく、  
持久走や水泳などの授業を休む子が増えているそうです。

また寝る時もベッドなので、布団を敷いた畳の上ででんぐり返し  
の経験もなく、マット運動でケガをする子が後を絶たない状況で、  
住環境の変化も子どもの体を軟弱にしていると語ります。

### 携帯電話——関係性の希薄化

携帯電話については、ラインやメールに振り回されコミュニケー  
ション能力の低下が著しいこと、人と関わらなくてもスマホのゲー  
ムで時間が過ぎるので、何かが起こった時の身の処し方を学ぶ術  
がない、などの指摘がありました。携帯電話は校内禁止としている  
が、どこまで自己規制ができるか、しっかりと距離をとる意思のあ  
る子もいれば振り回されてしまう子もいる、ということです。

### 食——給食で保つ栄養

中でも一番衝撃だったのは「子どもの食に大人が関わらなくなっ  
ている」という発言です。夫婦共働きで子どもにお金を持たせて、  
適当にどこかで食べなさいとお任せの家が増えており、給食で栄養  
を保っている。実際に夏休み明けには痩せている子がいるそうです。

自分の子育てでは美味しいご飯を作っていればまっすぐ子どもは  
育つと考え、実践してきたので驚きでした。「大勢でご飯を食べ  
ること」は、コミュニケーションを食べることでもあると改めて教え  
て貰いました。(子ども部会 大橋)

## 第2回「“学び”を支える無料塾 ～関係性の貧困解消～」

### 対象は「塾に行っていない子」

12月12日、経済的な理由などで塾に通っていない中学生を対象の、  
「中野よもぎ塾」を主宰する大西桃子さんをお迎えました。

塾を始めたきっかけは、行きつけの飲み屋のマスターに頼まれた  
家庭教師。現在中学校1年生のマスターの子どもが小学2年生の時  
に学級崩壊がおり、4年生になるまで塾に行っている子と行ってい  
ない子で大きな格差ができていることに怒りを覚えました。その頃、  
八王子つばめ塾をテレビで知り、大学時代の後輩や飲み仲間と相談  
して昨年4月から始めました。

### 授業の後のディスカッションで築く関係性

授業は毎週日曜日の夕方6時から3時間で、初めの2時間はマン  
ツーマン、その後1時間は集団授業を行います。雑誌 AERA に掲載  
されたことなどをきっかけに、ボランティアスタッフが約60人にも  
増えました。代表の大西さんと副代表を中心に面談して安全な人物  
が確認し、子どもに合わせて毎回マッチングを決めています。

1時間の集団授業では、この多彩なボランティアの職業の話を聞  
いたり、衆議院議員選挙の争点などをみんなでディスカッションし  
たり、俳句などの創作活動など、向学心を刺激するような内容で実施。  
塾の子ども同士でも教え合える相互扶助の関係も育んでいます。

### 勉強できる環境にない子どもたち

塾生は、8割がたシングルマザーの親子で、現在24人。昨年度は、  
2人の中学3年生を2人とも第1希望の高校に進学させました。

費用は公共施設の使用料やコピー用紙代など基本的な出費として  
は月に5000円ほど。教材や寄付金も集まってきているので、費用に  
は困っていません。部屋が狭い、兄弟が多く学習机がないなどの環  
境で暮らし、学校外では勉強の機会がないままにどこがわからない  
かもわからない子どもたちは、一緒にドリルを広げるだけでスポン  
ジのように吸収していきます。

「だって、楽しいから」続けているという大西さんは、現在中野駅  
周辺で実施していますが、ニーズの高いエリアである西武線沿線な  
どもでも無料塾を開いてくれる人を探しています。(子ども部会 大橋)

## サポーター会員募集中！

中野・生活者ネットワークの活動に賛同し、とも  
に活動する仲間を募集しています。居住地、勤  
務地は問いません。毎月「生活者通信」が郵送  
されます。年会費は1,200円です。

振込先 ゆうちょ銀行 口座番号：00140-0-670367  
加入者名：中野・生活者ネットワーク



「義務教育の段階  
に相当する普通教育  
の多様な機会の確保  
に関する法律」が自  
民党の議員連盟で話  
し合われている。こ  
れは全国に12万人い  
るといわれる不登校  
の子どものために、多  
様な学校以外の学  
び・育ちを認める一  
歩となる法案で、フ  
リスクリールの関係  
者から持ち込んで始  
まったもの。きちん  
と議論して子ども一  
人一人の学ぶ権利を  
保障する内容にして  
ほしい。(O)

### 編集後記

## 「コミュニティ食堂」はじまります。

今あちらこちらでどんどん増えている「子ども食堂」、なかのでは「コミュ  
ニティ食堂」として始まります。

昨年11月からプレオープン、1月13日(水)、3月9日(水)にも上  
高田東高齢者会館でおこない、4月から常設の予定です。ここは子どもだ  
けではなくお年寄りも乳幼児を抱えたママもOKです。18時には「いただき  
ます」、その後は20時の終了まで思い思いに過ごします。今は「かみた  
かだ食堂(仮)」、名前は現在募集中です。当日会場に投書箱がありますので、  
応募してください。

参加費は大人300円、子ども150円(食物アレルギーの有無は受付で  
お聞きします。)